

「情報社会学科」の記者会見とオンライン説明会を開催しました

2025年4月に新たに設置する「情報社会学科」について、5月13日（月）に記者会見を開き、岡理事長の挨拶の後、田中学長から概要を説明しました。

記者会見には、報道機関13社のご参加をいただき、新たな学科設置に至った背景を説明するとともに、学科のカリキュラムや特徴的な授業、卒業後の進路や入学試験などについて紹介、テレビや新聞等で報道されました。メタバース教室の導入についても言及しました。

この記者会見に引き続き、広く情報社会学科について知っていただくため、5月13日（金）から4回に渡ってオンライン説明会を開催しました。



高校生、高校教員、保護者等を対象とした「オンラインミーティング」は5月31日（金）と6月14日（金）に実施し、高校生が本学のメタバース会場に入り情報社会学科の学びを知る「メタバース会場」は6月7日（金）と6月21日（金）に実施しました。

「オンラインミーティング」では、「新学科卒業後の就職等を含めた進路イメージは？」「高校で理系の人も受験可能か？」「AIを学習する際、どこまで詳しいプログラミングコードやソースコードなどを習えるのか？そのようなことを学ぶことによって、どのようなものを作ることができるのか？」といった質問が寄せられました。

また、開催後のアンケートでは、以下のような感想が寄せられました。

- ・質問に対してとても分かりやすく回答してくださったので、少し不安だった所が解消されました。
- ・まだ、立ち上がっていない学科ですので、どうしても具体例に欠ける部分があると思いますが、それでも文理融合の情報学科というイメージが湧きました。
- ・情報社会学科でどのようなことが学べるのかなど説明が分かりやすかったです。様々な疑問も解決したので参加して良かったと思いました。

一方、「メタバース会場」では、入室した高校生（アバター）に対して担当教員が情報社会学科新設の背景や「文理融合」の重要性などについて説明した後、「情報社会学科」の特色を紹介しました。参加した高校生からは「共通テストで数学は必須か」、「単位の認定に当たってITパスポートを受験することは必須か」、「アートと情報をつなぐという話があったが、音楽と情報をつなげることは可能か」といった質問が寄せられました。

SNSやテレビCM、ラジオ番組やテレビ番組での発信が進み、少しずつ新学科について知られるようになってきました。7月18日（木）、25日（木）にも追加の説明会を開催します。



Well-beingをテーマとしたシンポジウムを開催 - 7月27日（土）

山口大学・山口県立大学・山口学芸大学の3大学と一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムでは、昨年実施したSPARC事業キックオフシンポジウムに続き、今年度もシンポジウムを実施します。

今年度のシンポジウムは、3大学が進める「ひとや地域（まち・文化・教育）のwell beingに貢献する文系DX人材の育成事業」のキーワードである「well being」について、意味を考えることを目的として開催します。

基調講演では、EVOL株式会社代表取締役CEOの前野マドカさんが「ウェルビーイング入門」をテーマに、武蔵野大学ウェルビーイング学部長の前野隆司先生が「ウェルビーイングと教育」をテーマに講演を行います。高校生にとって「わかりやすい幸福学入門」となります。

講演に続いて、3大学の取組紹介を行います。本学は西田光一国際文化学部長がキャッチフレーズである「デジつよ文系」と、3学科の目指す「多言語×デジタル（国際文化学科）」、「デザイン×デジタル（文化創造学科）」、「データ×デジタル×ビジネスマインド（情報社会学科）」について説明を行います。

「DX」による地域の課題解決のために、
私たちがの心の中だ。

7月27日
会場 KDDI維新ホール 大ホール
対象 高校生、大学生、社会人

お申込み
現地1,200名
及び
オンライン開催

https://www.yamaguchi-sparc.jp/form_20240727/

【開催概要】
山口県立大学、山口大学、山口県立総合技術学院が連携して開催する、DXによる地域の課題解決（PBL）に関するシンポジウムです。3大学の共同開設科目である「DXによる地域課題解決（PBL）」を受講した学生が昨年度の経験について話し合います。

【プログラム(予定)】

14:00	開会式	山口県立大学 学長 藤田 隆夫 山口大学 学長 藤田 隆夫 山口県立総合技術学院 学長 藤田 隆夫
14:10	基調講演	山口県立大学 学長 藤田 隆夫 山口大学 学長 藤田 隆夫 山口県立総合技術学院 学長 藤田 隆夫
14:20	パネルディスカッション	山口県立大学 学長 藤田 隆夫 山口大学 学長 藤田 隆夫 山口県立総合技術学院 学長 藤田 隆夫
14:30	閉会式	山口県立大学 学長 藤田 隆夫 山口大学 学長 藤田 隆夫 山口県立総合技術学院 学長 藤田 隆夫

【講師】
山口県立大学 学長 藤田 隆夫
山口大学 学長 藤田 隆夫
山口県立総合技術学院 学長 藤田 隆夫

最後に、「探究学習からPBLへ」と題して3大学の学生によるパネルディスカッションがあります。3大学の共同開設科目である「DXによる地域課題解決（PBL）」を受講した学生が昨年度の経験について話し合います。

また、会場では、各大学や入試について説明するブースを設置します。SPARC事業の取組、大学全体や国際文化学部のPR等を予定しています。

開催日時：2024年7月27日（土）
14:00～17:20
開催場所：KDDI維新ホール(対面でもオンラインでも可)

シンポジウムの申し込みは以下のURL又はQRコードからお願いします。



https://www.yamaguchi-sparc.jp/form_20240727/

2024年度の連携開設科目（試行）がスタート

昨年度から連携開設科目として試行を始めた「国際文化実践論/地域学」が今年度も始まりました。

今年度は、本学の受講生が61人、山口大学の受講生は7人です。4月11日（木）から開始され、5月23日の授業では、新学科の設置に合わせて整備したメタバース空間を学生全員が体験しました。

自分のアバターを選び、山口県立大学のメタバース空間に入り、展示場内を自由に動き回ったり、周りの人と音声とチャットで話しかける操作を行いました。

今年度のゲストスピーカーは、山口県デジタル政策課、山口市企画経営課、（株）丸久、（株）西京銀行、兵庫県立大学の芦谷先生で、それぞれの立場から地域の課題とDXへの取組について紹介します。



2024年度の慶南大学校との交流 ～ PBL



2023年2月、本学と韓国の慶南大学校との間で教育研究、セミナー等での共同運営や教員・学生交流の協力について覚書を交わしました。その後、吉村副学長他4名が慶南大学校に招待され、DXによる地域課題解決（PBL）の本学の取組について講演を行いました。

今年度は、4月22日に国際文化学科の林炫情教授が慶南大学校で開催された「デジタル融合人材（DX）育成日韓セミナー」に出席し、本学のSPARC事業の取組等について報告を行いました。さらに、**7月31日（水）**には、慶南大学校LINC3.0事業団長ほか3名が本学を訪れ、覚書締結後の取組について意見交換を行うとともに、国際文化学部のFDとして、慶南大学校のPBL教授法と高校連携PBL適用事例などを紹介していただく予定です。

こうした2大学間の学術交流がさらに加速化することが期待されます。

編集後記

本学のSPARC事業の中核をなすのが国際文化学部の再編です。この再編の取組として、5月13日に、国際文化学部・情報社会学科を設置することが記者発表されました。

この発表を受けて、情報社会学科のリーフレットに加えて、SPARC教育プログラムが加わった国際文化学科、文化創造学科のリーフレットもそれぞれ作成しました。今年は県内のすべての高校訪問があります。7月27日に開催される3大学とコンソーシアム主催のwell-beingをテーマとしたシンポジウムなどで本学のPRを進めていかなければならないと気持ちを新たにしています。

一方、3大学の取組が本格的に始まる2025（令和7）年度からのSPARC教育プログラムの準備も順調に進んでいます。連携開設科目の実施要項に基づく提供先の大学のシラバス作成や、昨年度実施した授業評価の課題等をふまえた授業改善、またアセスメントプランの策定などに取り組んでいます。来年度入学してくる新一年生から数学の入学前教育も始まります。